
令和7年度市町村子ども会連絡協議会事務担当者会議

資 料

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

ぼうさい探検隊とは？

1. 概要

子どもたちが楽しみながら地域の防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながら危険な場所や気づき等をマップにまとめ発表する安全教育プログラム

①事前学習⇒②まちなか探検⇒③マップ作成⇒④発表

2. 2024年度の実施結果（全国）

応募団体	応募作品数	参加人数
419	1,413	7,590



模造紙によるマップ（一例）

3. 目標

顕在化した地域の課題について行政等に要望提言をし、実際の現場の改善につなげる

ぼうさい探検隊の効果とは？

昨今、多くの自然災害が発生するとともに、子どもが被害者となる事故や犯罪が増加

ぼうさい探検隊は、楽しみながらまちを探検し、災害への備えや身近な危険について自ら考え、気づくことができる



**防災・防犯・交通安全教育
に役立ちます！**



まちなか探検

- ・防災・防犯・交通安全等の地域にあったテーマを設定し、チェックポイントを決めます。
- ・地域の設備や施設について
「地震が起こった時にどうなるのか」
「自転車に乗っている時に危険な場所はどこか」
「人通りの少ない道を通るときは？」等
子ども自身に考えてもらいましょう！



防災をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 消火器・AED
- 消火栓・送水口
- 防火水槽・消防水利
- 電話ボックス

【施設】

- 避難場所
- 防災備蓄倉庫
- 消防署
- 病院

【その他】

- 自動販売機
- コンビニエンスストア
- 地域特有の危険
- 地域の防災対策
- 地域の災害史
- など

交通安全をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 横断歩道・歩道橋
- ガードレール・歩道
- 信号機・標識
- 電話ボックス

【施設】

- 駐車場・駐輪場
- 交番・警察署
- 消防署
- 病院

【その他】

- 自転車の安全な乗り方
- 交通量の多いところ
- 地域特有の危険
- 地域の交通安全対策
- など

タブレット（無料貸出）を使えば 手軽にデジタルマップを作れます！

「まち探検アプリ」とは

ふだん歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。



タブレットを使用すると
編集も簡単！



タブレットで作成したマップ（一例）

**気候の良い春や秋の活動や夏休みの自由研究として、
是非ご検討ください！**

テーマは
地域の…

防災

防犯

交通安全

地域を探検して 安全マップを 作ってみませんか?

「第3次学校安全の推進に関する計画」では、「安全教育を効果的に実施するためには、体験活動を通じた学びやデジタル技術を活用した学びが有効」とされています。

① まずは事前エントリーをしよう!

「参加申込書」に必要事項を記入して事務局に送付いただくか、ウェブ参加申込フォームからお申込みください。

② まち探検をしよう!

子どもたちの視点で地域を探検して、防災・防犯・交通安全に関する様々な施設や設備、危険なところを発見しましょう。



③ みんなでマップを作り、発表して応募しよう!

探検して気づいたこと、考えたことをマップにまとめましょう。マップが完成したら、発見したことや気づきを発表しましょう。

特に優れた作品には
「文部科学大臣賞」
「防災担当大臣賞」
「消防庁長官賞」
などを贈呈



紙マップもデジタルマップも OK!

事前エントリーいただいた方には

- ① 希望者には、まち探検に役立つ「実施キット」を無料で提供



- ② デジタルマップを作成する場合は「専用タブレット」を無料で貸出



- ③ はじめてのまち探検でも安心! ノウハウをコンパクトにまとめた「実施マニュアル」を無料で提供

- ④ 参加された児童全員に「参加賞」を贈呈

応募資格

2024年11月2日以降に、小学生が複数(2人以上)で作成したマップであること
入選対象となるマップは小学生が主体で作成したものに限りです。

申込・マップ提出

2025年11月4日(火)必着

お問い合わせ

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」事務局

ぼうさい探検隊

検索

TEL 03-6625-7424 (平日 10:00~18:00)

E-mail info@edpmap-entry.jp

ホームページ www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/

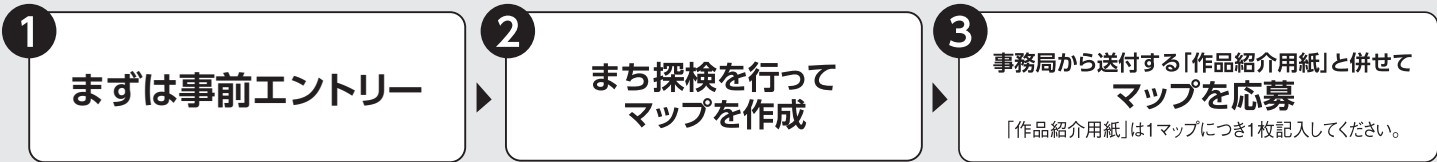
主催：日本損害保険協会／朝日新聞社／日本災害救援ボランティアネットワーク

後援(予定)：内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県／アジア防災センター／児童健全育成推進財団／日本損害保険代理業協会／ボーイスカウト日本連盟／ガールスカウト日本連盟／NHK／防災士研修センター



● 応募テーマ
防災・防犯・交通安全など、地域の安全・安心に関するテーマを幅広く受け付けます。

● 応募までの流れ



下の「参加申込書」に必要事項を記入しメールまたはFAXでお送りください。以下のウェブ参加申込フォームからも簡単にお申込みいただけます。



「ぼうさい探検隊」参加申込フォーム
<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/forms/>

● 審査基準
応募いただいたマップは、「提案性」「教育効果性」「地域性・テーマ性」に加え、紙マップは「ビジュアル性」、デジタルマップについては「専門家ならではの視点での評価」などを加味して審査します。

[応募方法] ●マップ画像は、提出フォームまたはメールで提出してください。
詳細は、お申込み後に事務局からご案内します。

● 審査結果
2025年12月に日本損害保険協会のホームページなどで発表予定
※入賞以外の作品については、審査時の個別評価を一律に発表することはありません。

応募されたマップは「想いのこもった大切な作品」として扱いますので、応募の際には「代表応募マップ」は選ばず、全てのマップをご送付ください。
※交通安全および事故・ケガ防止の観点から、教員・保護者やボランティアの方など必ず大人が同行するようにしましょう。万一の事故やケガに備えて、保険等に参加しておきましょう。



小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール参加申込書

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」事務局
TEL : 03-6625-7424 (平日10:00~18:00)
FAX : 03-3572-6268
E-mail : info@edpmap-entry.jp

■本コンクールの応募について	☐ 初めて			☐ 応募したことがある		
(ふりがな)						
■団体名	※個人参加は学校名、企業名以外をご記入ください。【例1】〇〇探検隊 【例2】〇〇キッズ					
(ふりがな)						
■担当者の住所 (タブレット等の送付先)	〒		—		都・道・府・県	市・郡・区
(ふりがな)						
■担当者のお名前	様					
■担当者の連絡先 日中、連絡がとれる番号	申込後、事務局から詳細確認のご連絡を差し上げますので、電話番号とメールアドレスは必ずご記入ください。また、貸出物はご連絡がついてからの手配です。					
	電話番号 (必須)	—		FAX番号	—	
	E-mail (必須)	※キャリアメール以外を推奨				
■実施予定日 (既に実施済の場合は実施日)	※ぼうさい探検隊(まち探検)の実施予定日を記入ください。			■参加学年・人数 (マップ作成時)		
	年	月	日	年生	人	
■参加方法・ 応募マップ数 (予定でも可)	※タブレットと現物の両方で参加する方はどちらのマップもご提出ください。その場合は、両方にチェックを入れてください。					
	☐ タブレット	点		☐ 現物(模造紙での作成)	点	
■マップ提出	マップの画像データ(JPEG形式)を提出フォームまたはメールで提出してください。 入賞時に現物送付いただくことは可能ですか。 ☐ 可 / ☐ 不可 (どちらかに☑を入れてください) ※データ提出が難しい場合は、事前にご相談ください。					
■応募のきっかけ (複数回答可)	☐ マップコンクール事務局からの案内で					
	☐ 損保会社からの紹介で(具体的に：)					
■備考	☐ 教育委員会・自治体等からのご案内で					
	☐ 損保代理店・損保代理業協会からの紹介で					
■備考	☐ ネット検索・ホームページ(具体的に：)					
	☐ (具体的に：)					
■備考	☐ 他校・他団体からの紹介で					
	☐ リピート参加					
■備考	☐ その他(具体的に：)					
	☐ その他(具体的に：)					

小学生による
まちの **防災・防犯・交通安全** を
テーマとした安全・安心マップづくり

ぼうさい探検隊

〈実施マニュアル〉



「ぼうさい探検隊」って何？

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムです。

防災・防犯・交通安全教育に役立ちます！

昨今、多くの自然災害が発生するとともに、子どもが被害者となる犯罪・事故も増加しています。地域の安全・安心が脅かされている中、「ぼうさい探検隊」は、防災への意識を高めて災害への備えを認識するだけでなく、子どもの防犯・交通安全教育にも役立ちます。

ぼうさい探検隊の効果

- ①子どもの防災・防犯等安全意識が向上します。
- ➡楽しみながらまちを探検することで、自主的に災害への備えや身近な危険について考え、気づくことができます。
- ②探検をしながら地域への関心・愛着が生まれます。
- ➡地域の人たちとの交流によって地域への関心や愛着が生まれ、「地域コミュニティ」も強化されます。



こんなときに ぴったり！

- ・小学校の安全教育授業
- ・子ども会
- ・ボーイスカウト、
ガールスカウトなど
での野外活動 等

マップにまとめて コンクールに応募しよう！

優秀作品には文部科学大臣賞、防災担当大臣賞などが贈呈されます。

👉応募要項👈

損保協会ホームページ

<https://www.sonpo.or.jp/>



「ぼうさい探検隊」のプログラム

1 事前学習

まずは、まちの危険について、どのようなところが危険なのか、事前学習の手引きを活用して考えてみましょう。

2 まちなか探検（フィールドワーク）

子どもたちの視点でまちを探検して、防災・防犯・交通安全に関する様々な施設や設備・危険なところなどを発見します。

3 マップの作成

街区地図などを用いて発見したこと、気づいたことを模造紙に記入、整理していきます。

タブレットを使えば手軽にデジタルマップづくりができます。

4 発表

マップができあがったら、自分たちで発見したことや気づいた点などについて発表します。他のチームの発表もしっかり聞きましょう。



当日までの主な準備

1

開催日時や テーマを決定

- ・ まちなか探検の開催日時を設定します。
- ・ 防災や防犯、交通安全を基本に地域の特性にあったテーマを設定し、チェックポイントを決めます。右ページを参考にしてください。

2

事前学習、 まち歩きコース 等を決定

- ・ 探検する地域の下見を行い、交通量が多い所や危険な所を事前にチェックして子どもの安全を確保します。
P4 を参考に、マップを作る際のイメージをもっておくと、さらにスムーズです。

3

当日使用する 物品・資料を準備

- ・ 街区地図やワークシートなど当日使用する物品や資料を準備します。
P5 をご参照ください。

4

ぼうさい探検隊 を実施

- ・ 避難所までのルートや通学路など自分たちの住んでいるまちを探検します。
P6 ～ 7 を参考にしてください。

※その他準備しておくこと

・ 引率者の確保

交通安全および事故・ケガ防止の観点から、まちなか探検の際には、保護者やボランティアの方など、必ず大人が1人以上引率し、必要に応じてサポートしてください。

・ 消防・警察等関係団体への連絡

まちなか探検の際に、消防署・交番などでインタビューなどを行うとより理解が深まります。

・ ケガ等に備えて保険への加入を忘れずに

万が一の事故やケガに備えて、傷害保険などに加入しているか、事前に確認しておきましょう。
（詳しくは最寄りの損害保険代理店または保険会社にご確認ください。）

まちなか探検のテーマやチェックポイントの例

マップづくりのルートは、できるだけ通学路やよく遊ぶ場所に設定しましょう。

防災・防犯・交通安全など、まちなか探検のテーマごとにチェックポイントを設定すると効果的です。以下のようなテーマ・チェックポイント例を参考に、地域の実情に合った内容で実施しましょう。

それぞれの設備や施設について、「安全か、それとも危険か、みんなで考えてみよう」というように子どもたち自身にも考えてもらおうと、より高い学習効果が期待できます。

もちろん、**全てのチェックポイントを盛り込む必要はありません**。あまり欲張りすぎずに、**まずはテーマごとに3～5つの要素を選んでみる**とよいでしょう。

損保協会ホームページ上に、テーマごとにチェックポイントや指導時のアドバイス例をより詳しく掲載しています。こちらをあわせて参考にしてください。

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/index.html>



防災をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 消火器・AED
- 防火水槽・消防水利
- 消火栓・送水口
- 電話ボックス

【施設】

- 避難場所
- 消防署
- 防災備蓄倉庫
- 病院

【その他】

- 自動販売機
 - 地域特有の危険
 - 地域の災害史
 - コンビニエンスストア
 - 地域の防災対策
- など

防犯をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 防犯の看板
- 街灯
- 防犯カメラ
- 電話ボックス

【施設】

- 子ども110番の家
- 駐車場
- 交番・警察署
- 公園・空き地

【その他】

- コンビニエンスストア
 - 人通りの少ない道・暗い道
 - 高い塀や物陰のあるところ
 - 地域の状況（不審者情報など）
 - 地域の防犯対策
- など

交通安全をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 横断歩道・歩道橋
- 信号機・標識
- ガードレール・歩道
- 電話ボックス

【施設】

- 駐車場・駐輪場
- 消防署
- 交番・警察署
- 病院

【その他】

- 自転車の安全な乗り方
 - 交通量の多いところ
 - 地域特有の危険
 - 地域の交通安全対策
- など

そのほかのテーマで実施する場合の チェックポイント例

●バリアフリー・高齢者などへの対策

- バリアフリーの場所
- 高齢者のケアや対策
- 地域独自の対策

●環境問題

- 環境変化の影響
- 未来に向けたまちづくり

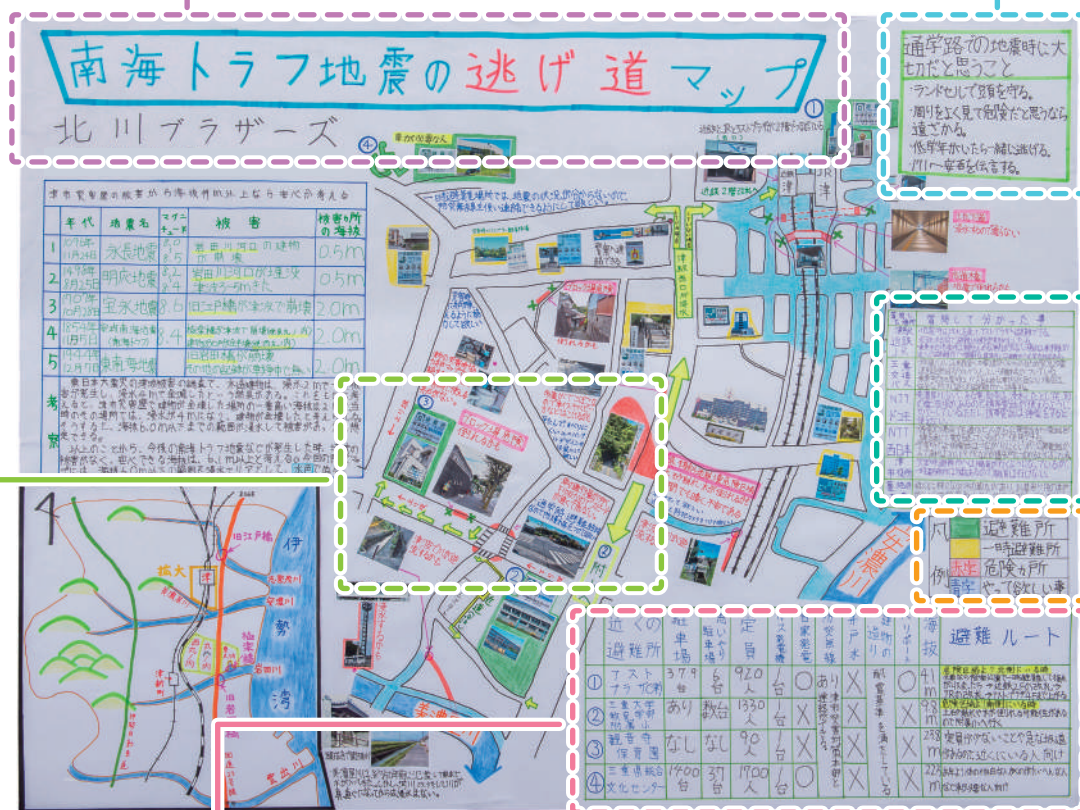
●地域の再発見

- 地域の良いところ探し
 - 住みよいまちづくり
- など

模造紙によるマップの例

マップにタイトルをつけ、チーム名を書きます。

気づきや感想を書きます。



調査した結果をまとめます。

地域の方々にインタビューして わかったことを書きます。

撮ってきた写真をはり、気づいたことを書きます。

色分けした凡例は地図を見やすくします。

タブレットで作成したマップの例



作成した方のコメント

- ・タブレットを使うことで、臨場感をもって災害に向き合うことができた。
- ・コロナ禍であっても、タブレットを使うことで少人数で実施することができた。
- ・探検で発見したことをタイムラグなく、マップに反映させることができ、容易に編集作業ができた。
- ・デジタルマップがシンプルな構成になっているからこそ、ポイント毎の文書表現で考える力が身についた。
- ・初めてタブレットにさわる子どもでも、すぐに扱い方を習得し、子ども同士で教え合う様子がうかがえた。

準備しておくもの

☆まちなか探検・マップ作成に必要な備品の参考例 (模造紙によるマップを作成する場合)

まちなか探検に必要なもの

- 持ち歩き用の街区地図 (A4 サイズ程度)
- 画板・クリップボード
- 鉛筆・消しゴム
- 説明用資料 (注意事項やスケジュールなど)
- ワークシート (必要に応じて)
- チェックポイント確認用マークシール
- デジタルカメラ

マップ作成に必要なもの

- まちなか探検の際に撮影した写真 (なくても可)
- 鉛筆・消しゴム
- マジック・カラーサインペン
- マークシール (数種類)
- ポストイット
- 模造紙
- スティックのり
- セロハンテープ
- はさみ

〈実施キット〉



「実施キット」の内容

作成されたマップを「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」にご応募いただくことを条件に、このような「実施キット」を希望によりご提供しています。ただし数に限りがあります。また、内容は変更になる場合があります。

● タブレットを使ったデジタルマップを作成する場合は、これらの機能が内蔵されているため、準備は不要です。

☆ワークシート例

まちなか探検の際、次のようなワークシートを作成しておくと、より理解が深まります。

ぼうさい探検隊ワークシート

年 月 日
グループ名: _____
名 前: _____

チェックポイント1

小学校の備蓄倉庫にはどんなものが保管してあるか調べて、記入しましょう。

チェックポイント2

消防署の人にインタビューしてみましょう。

Q 消防署では毎日どんなお仕事をしていますか。

Q わたしたちのまちではどんな事故や災害が多いのですか。

Q 事故や災害にあわないためには、どんなことに注意すればよいですか。

Q その他

◎ 探検して気づいたことや発見したことを書いてください。

マップがこのように 役立っています！

● 危険箇所や施設が改修

「ぼうさい探検隊」を通じて子どもたちが気づいた点を自治体に改善要望したところ、実際に壊れかけたブロック塀がフェンスに改修されたり、街灯・信号・スクールゾーンなどが設置されました。

● 地域の広報誌に掲載

学校での展示だけでなく、作成したマップを縮小して地域に配布したり、自治体の広報誌にとりあげられるなど広く地域の皆さんにまちの安全意識を呼びかけています。

「ぼうさい探検隊」でつくる地域安全安心マップにチャレンジ! 実践事例の紹介

スケジュール・時間配分の例は以下のとおりです。参加する児童の学年や人数などを考慮しながら、子どもも大人も無理なく・楽しく実施するうえでの参考としてください。

模造紙によるマップづくりを行う場合、
損保協会ホームページ上に、実施する場合の事前準備や時間配分・進め方の例を
より詳しく掲載しています。こちらもあわせて参考にしてください。

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/index.html>



●実施する場合の時間配分・進め方の例 ★印がついたところは子ども主体で行います。

当日の流れ

9:30 【ステップ1】集合・事前学習

まずは、まちの危険について学ぼう。
まち歩きの手順をよく聞いて、どんなところを探せばいいか、
マップづくりのポイントを学びます。

どんなところが危険なのか、
事前学習を通して、考えてみよう。



10:00 【ステップ2】グループ編成

★グループごとに集まって、班長・副班長・地図係などの役割を決めよう。

- ・班 長 班をまとめる
- ・副班長 班長を助ける
- ・地図係 危険なところ、安全なところ、子ども110番の家、インタビューしたところにしるしをつける
- ・写真係 写真を撮る
- ・インタビュー係 まちの人にインタビューしたことを書く
- ・全 員 ワークシートに気づいたことを書く

マップづくりの注意ポイント

- ①実際におこった事件の場所や不審者情報などにポイントをおいたマップにならないようにしましょう。
- ②「〇〇警察の方の話では・・・」などとし、インタビューした相手の名前は記載しないようにしましょう。
写真を撮らせてもらうときは了解をもらってからにしましょう。
- ③写真のなかに表札や車のナンバープレートが写っていたら黒くぬって見えないようにしましょう。

10:30 【ステップ3】フィールドワークに出発!

ジャケットを着用すれば
地域安全安心マップづくりの
活動中だということがわかる
目印になります。



★危険な場所を考えてみよう

危険な場所や子ども110番の家を見つけたら、白地図にシールをはっいていこう。



子ども110番の家を
発見。ここは安全。

気づいたことは、ワーク
シートやタブレットにど
んどん書き込んでいこう。

この辺で危険だと感じる
ところがありますか?



地域の方に
インタビュー

写真係は
デジカメや
タブレットで
撮影しよう。



★インタビューの例

まちの人にいろいろと聞いてみよう。

- ①「こんにちは。いま、地域安全安心マップをつくっています」
- ②「もうしわけありませんが、お話を聞かせていただけませんか?」
- ③「犯罪や事故がおこりそうな場所がありますか?」
- ④「ご協力ありがとうございました」

11:30 フィールドワーク終了〈昼食、休憩〉

お疲れさまでした。次は、マップづくりです。



13:30 【ステップ4】マップづくり

マップづくり準備品

- 記入したワークシートとインタビューシート ●撮影した写真プリント ●模造紙 ●スティックのり ●はさみ
- マジック (5〜6色あると便利) ●ポストイット (4色あると便利。シールと色を合わせると良い。) ●マークシール

★作業その1：写真とコメントの整理



- ①歩いたルートをマーカーなどで地図上に記入。



- ②街区地図のチェックポイントにシールをはります。



- ③ワークシートに記入したコメントがどの場所だったかを確認します。



- ④写真にコメントを記入していきます。(コメントは気づいたことや感想を書きます)



- ⑤コメントを記入するポストイットは、「危険」「安全」「インタビュー」などで、シールの色に合わせて色分けします。



タブレットを使用すると編集も簡単！

★作業その2：模造紙でマップをつくる

写真の余分なところはとって好きな形にカットしよう。



- ⑥模造紙にタイトルとチーム名を記入し、街区地図をはいたら、コメントをつけた写真をおおまかにならべてみよう。

マップづくり作業はみんなで、楽しく！



- ⑦ならべた写真とコメントをのりで模造紙に固定。



おおよそできあがったら、全体を見てみよう。



タブレットで作成したマップのイメージ

14:30 【ステップ5】マップ完成！発表会

- マップにタイトルをつけ、チーム名を書きます。
- 撮ってきた写真をはり、気づいたことを書きます。
- 地域の方々にインタビューして わかったことを書きます。

- 色分けした凡例は地図を見やすくします。
- 調査した結果をまとめます。
- 気づきや感想を書きます。

まちなか探検の際に心がけていただきたいこと

- 個人情報（表札や車のナンバープレートも含む）や人権・肖像権にも留意するとともに、個人宅の災害対策を非難したり、不審者と決め付けて個人攻撃したり、事故や犯罪の被害者の気持ちを逆なでしたりすることのないよう、十分に配慮してください。
- まちなか探検の際は、交通事故やケガのないよう、特に注意しましょう。

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」について

日本損害保険協会では、毎年「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を実施しています。小学生が作成した防災・防犯・交通安全に関するマップをぜひご応募ください。

詳しくは、特設サイトをご覧ください。(https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/)

ぼうさい探検隊
特設サイト



事前エントリーは
こちらから



ぼうさい探検隊

検索



「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」事務局

TEL : 03-6625-7424(平日 10:00～18:00) FAX : 03-3572-6268

E-Mail : info@edpmap-entry.jp

一般社団法人 日本損害保険協会

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町 2-9

https://www.sonpo.or.jp/

(業務企画部啓発・教育・防災グループ TEL 03-3255-1215 FAX 03-3255-1236)

あいおいニッセイ同和損保	アイペット損保	アクサダイレクト	アニコム損保	イーデザイン損保	A I G 損保
エイチ・エス損保	S B I 損保	a u 損保	キャピタル損保	共栄火災	さくら損保
ジェイアイ	セコム損保	セゾン自動車火災	全管協れいわ損保	ソニー損保	損保ジャパン
大同火災	東京海上日動	トーア再保険	日新火災	日本地震	ペット&ファミリー損保
三井住友海上	三井ダイレクト損保	明治安田損保	楽天損保	レスキュー損保	(50音順) 2023年7月現在

損害保険は、私たちを取りまくさまざまな事故や災害から生命や財産を守るための合理的な防衛策のひとつで、ご契約者の皆様に「安心」をお届けしています。

防災^{plus}地学 名古屋大学博物館とコラボ!

防災・減災 ピクニック 2025

親子20組

40名

参加費無料

要事前申込

夏の
自由研究を
先取り!
写真OK!

地震の
“揺れ”を学ぶ!

※プリンを使った実験等

名古屋大学
東山キャンパスを
探検!

探検ルート※

※天候等により、ルートが変更になる可能性があります。

地震と地層の関係を知る
名古屋大学
博物館&減災館
ツアー



2025.5/31(土) 9:00~12:30 雨天決行
(名古屋大学博物館にて受付8:45~)

集
合
場
所

名古屋大学東山キャンパス
(名古屋大学博物館)

↑名城線「名古屋大学駅」下車2番出口すぐ

対
象

親子(保護者と小学生の子ども)

今後30年以内に発生すると
言われている南海トラフ巨大地震。
防災の基礎でもある地学を学びつつ、
防災・減災について親子で
体験学習しよう!

ナビゲーター

名古屋大学名誉教授
福和 伸夫 氏

共催 / 一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 名古屋大学博物館

協力 / 名古屋大学減災連携研究センター 公益財団法人 中部科学技術センター 愛知県損害保険代理業協会

後援 / あいち・なごや強靱化共創センター 中日新聞社

スケジュール(予定)

8:45～ 集合・受付(名古屋大学博物館 1 階)

9:00～ 9:10 ナビゲーター等の紹介

9:10～ 9:40 名古屋大学博物館ツアー

・学芸員や大学生が展示物等を解説します。

マッコウクジラの
骨格標本を
さわって
観察したい!



顕微鏡で
放射虫を
見てみたい!



9:40～10:30 東山キャンパスを探検(博物館～減災館)

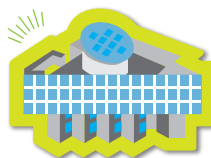
・キャンパス歩きも楽しみつつ、大学生が地層や遺跡等について解説します。(雨天の場合、プログラム変更の可能性があります。)
・減災館で休憩をはさみます。



前回の様子

10:30～11:00 減災館見学ミニツアー

・減災館の施設見学とともに、プロジェクションマッピングや学習装置等も体験します。



前回の様子

11:00～12:30 福和先生と一緒に揺れを学ぶ

・プリンやココア、教材キットを使った実験で、地震の「揺れ」について学びます。



前回の様子



12:30～ レスキューフーズプレゼント・終わりの会・解散

・火や電気を使わずに、いつでもどこでも簡単に加熱ができる非常食(レスキューフーズ)をプレゼントします。自宅でご食べてみてください。

持ち物と服装

✓ 水筒・筆記用具

✓ 動きやすい服装

✓ 雨具(雨天の場合)

※熱中症に十分気をつけて、水分を補給してください。

申込
方法

お申し込みはこちら



申込
締切

2025年5月14日(水)必着

※応募者多数の場合は、抽選となります。

※ご参加いただける方には、5月21日(水)までに参加案内のメールを送付します。

※ご登録のメールアドレスが「メール指定受信登録」や「迷惑メール受信拒否設定」などをされている場合は、弊社からのメールを受信することが出来ません。お手数ではありますが、ご使用のメールの設定をご確認いただき、設定されている場合は、下記のドメインを解除していただきますようお願い申し上げます。

nagoya@sonpo.or.jp



<https://forms.office.com/r/UGX63LvxGz?origin=QRcode>

※メールやお電話のお申し込みはできません。

※ご連絡いただいた個人情報につきましては、ピクニック運営の目的以外に使用することはありません。また、この情報は第三者に提供することはありません。

※当日はメディアの取材等によって、イベントの様子を写真並びに動画撮影する場合があります、それらは広告物に掲載される場合がございます。掲載をご希望されない場合は、当日スタッフにお申し付けください。

問い合わせ先 (一社)日本損害保険協会中部支部

TEL 052-249-9760

E-mail nagoya@sonpo.or.jp